

Technics®

取扱説明書

ステレオパワーアンプ

SE-R1

音楽は、国を越えて、世代を越えて、

人の心を揺さぶり続けます。

そして時代はいつも、

新しい感動を求めています。

まだ経験したことのない音との出会い。

音楽を愛するすべての人に、

再び心ふるわせる喜びを。

Rediscover Music™

Technics

はじめに

このたびは、テクニクス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6～9 ページ)を必ずお読みください。
- 保証書(別添付)は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■ 本機の特長

本機には下記の特長があります。

高精度ジッター削減 PWM 変換回路搭載フルデジタルアンプ

独自のジッター削減回路および高精度 PWM 変換回路を搭載することにより、歪み・ノイズ・ジッターを徹底して排除したフルデジタルアンプです。

LAPC (Load Adaptive Phase Calibration)

周波数振幅・位相特性を平坦化するスピーカー負荷適応処理で空間表現豊かな音を再現します。

GaN-FET Driver

正確に生成した PWM 信号をそのまま電力増幅するためには、高速で、ロスが少ないスイッチングが必要になります。そのために、高速で超低 ON 抵抗の GaN-FET Driver を搭載しました。

■ 推奨機器について

よりよい音質でお楽しみいただくため、当社製機器(別売)をお勧めします。

品名	品番
ネットワークオーディオコントロールプレーヤー	SU-R1
スピーカーシステム	SB-R1

■ 本書内の表現について

- 参照していただくページを(⇒ 00)で示しています。
- イラストが実物と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(⇒ 6 ～ 9 ページ)

付属品	10
各部の名称と働き	11
準備する	12
スピーカーと接続する	12
SU-R1 とシステム接続する	14
アナログ音声出力機器と接続する	15
電源コードを接続する	16
スピーカー接続時のアンプの出力特性を測定し、出力を補正する	17
操作する	18
システム接続機能を使う	18
故障かな！？	19
仕様	20
使用上のお願い	21
設置について	21
つゆつきについて	21
お手入れ	21
保証とアフターサービス	22

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電やショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意 (必ずお守りください) (続き)

 警告	
 分解禁止	分解、改造をしない 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない 感電の原因になります。
 接触禁止	雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない 感電の原因になります。
	電源プラグのほこり等は定期的にとる プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。 ● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
	電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 ● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



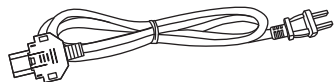
注意

	不安定な場所に置かない 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない 倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
	コードを接続した状態で移動しない 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。
	本機のつまみをつかんで持ち上げたり、運んだりしない 落下すると、けがの原因になることがあります。 また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。
	本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない 倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。 また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。
	放熱を妨げない 内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。 ● 天面の通気孔をふさがないでください。 ● 天板の上に物を置かないでください。 ● また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。
	異常に温度が高くなるところに置かない 温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。 ● 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。 ● また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。
	油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
 電源プラグ を抜く	長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
	本機を持ち運ぶときは、2人以上で行う 落下すると、けがの原因になることがあります。

付属品

電源コード（1 本）

K2CA2YY00307



- 付属品の品番は2014年11月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

付属品や別売品（⇒ 4）は販売店で買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」で買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC

<http://club.panasonic.jp/>

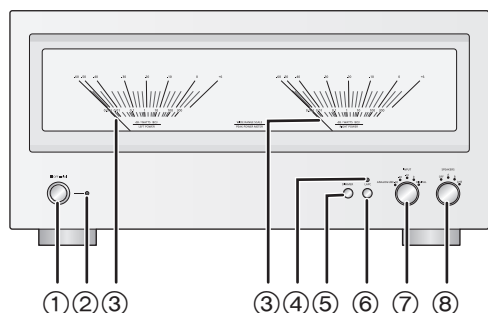
※ このサービスは WEB 限定のサービスです。

携帯



各部の名称と働き

■ 前面



① 電源ボタン

本機の状態（電源入 / 切）を切り替えます。

② 電源インジケータ

本機の状態によって点灯の状態が変わります。

青色に点灯	電源「入」状態
赤色に点灯	スタンバイ状態 スタンバイ状態から電源を入れるには、本機の電源ボタンを切 / 入してください。

③ PEAK POWER METER

出力レベルを表示します。

- ライトが点灯していない状態の場合、PEAK POWER METER は動作しません。

④ LAPC インジケータ (⇒ 17)

⑤ DIMMER ボタン

ライトやインジケータの明るさを調整します。
押すたびに明るさが切り替わります。

⑥ LAPC ボタン (⇒ 17)

スピーカー接続時のアンプの出力特性を測定し、出力を補正します。

- スピーカー切換つまみが [OFF] に設定されている場合、この機能は働きません。

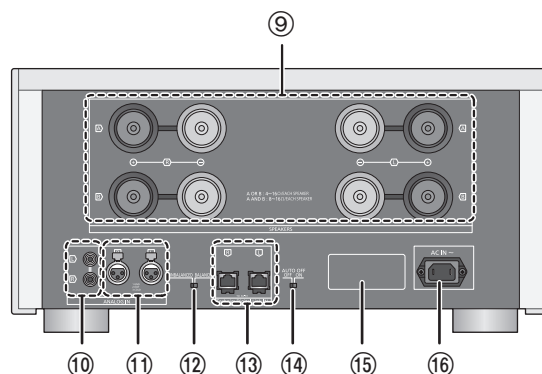
⑦ 入力切換つまみ (⇒ 18)

入力およびアナログ入力のゲインを切り換えます。

⑧ スピーカー切換つまみ (⇒ 18)

出力するスピーカーを切り換えます。

■ 背面



⑨ スピーカー出力端子 [SPEAKERS] (⇒ 12)

⑩ アナログ音声入力端子 [UNBALANCED] (⇒ 15)

⑪ アナログ音声入力端子 [BALANCED] (⇒ 15)

⑫ アナログ音声入力切換スイッチ (⇒ 15)

アナログ音声入力を切り換えます。

- 入力切換つまみが [DIGITAL] に設定されている場合は働きません。

⑬ システム端子 [Technics Digital Link IN] (⇒ 14)

⑭ オートオフスイッチ [AUTO OFF]

オートオフ機能を入 / 切します。

オートオフ機能とは

無音の状態が約 20 分間続き、その間ボタン操作などがなかった場合、電力を節約するため、自動的にスタンバイ状態に切り替わります。

状態を切り替えたくない場合は、[OFF] に設定してください。

⑮ 定格銘板

- 製品品番は定格銘板内に記載されています。

⑯ AC 入力端子 [AC IN ~] (⇒ 16)

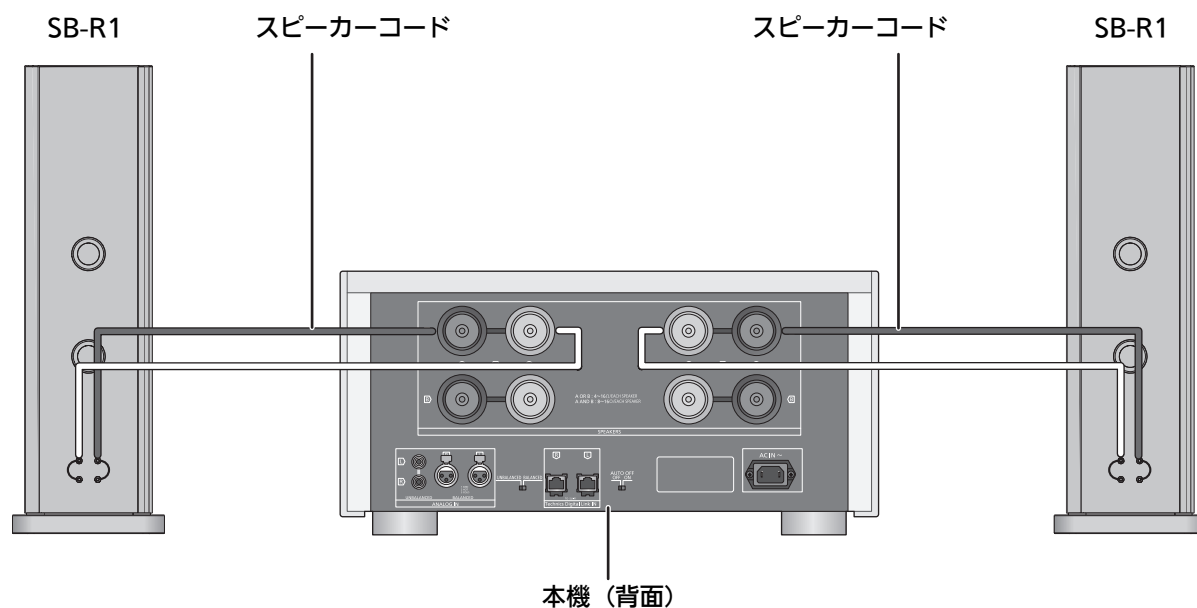
準備する

- 機器の接続や変更を行う場合は、必ず本機や他の機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- ケーブルを急な角度で折り曲げないでください。

スピーカーと接続する

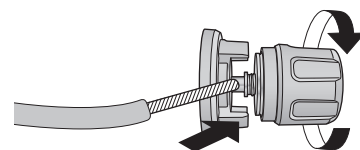
■ シングルワイヤリング接続

例：

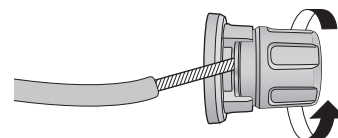


- シングルワイヤリング接続時はスピーカー切換つまみを「A」または「B」に設定してください。(⇒ 18)

1 つまみを回してゆるめ、芯線を差し込む

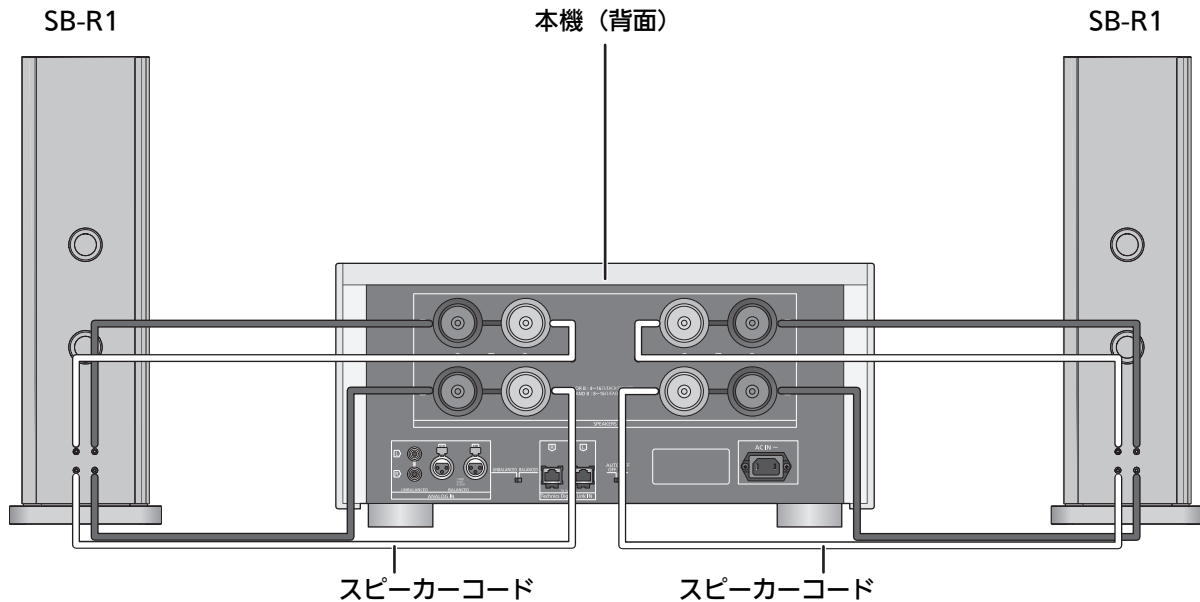


2 つまみを締める



■ バイワイヤリング接続

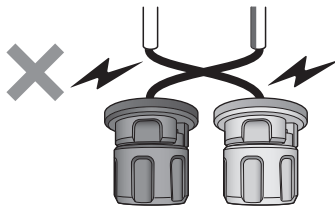
例：



- バイワイヤリング接続時はスピーカー切換つまみを「A+B」に設定してください。(⇒ 18)

お願い

- ケーブルの先端が端子に確実に接続されているか、ケーブルを軽く引いて確認してください。
- スピーカーコードをショートさせないでください。アンプの回路が破損するおそれがあります。



- 端子への接続は＋、－を正しく接続してください。間違って接続した場合、正常なステレオ効果を得られなかったり、故障の原因となることがあります。

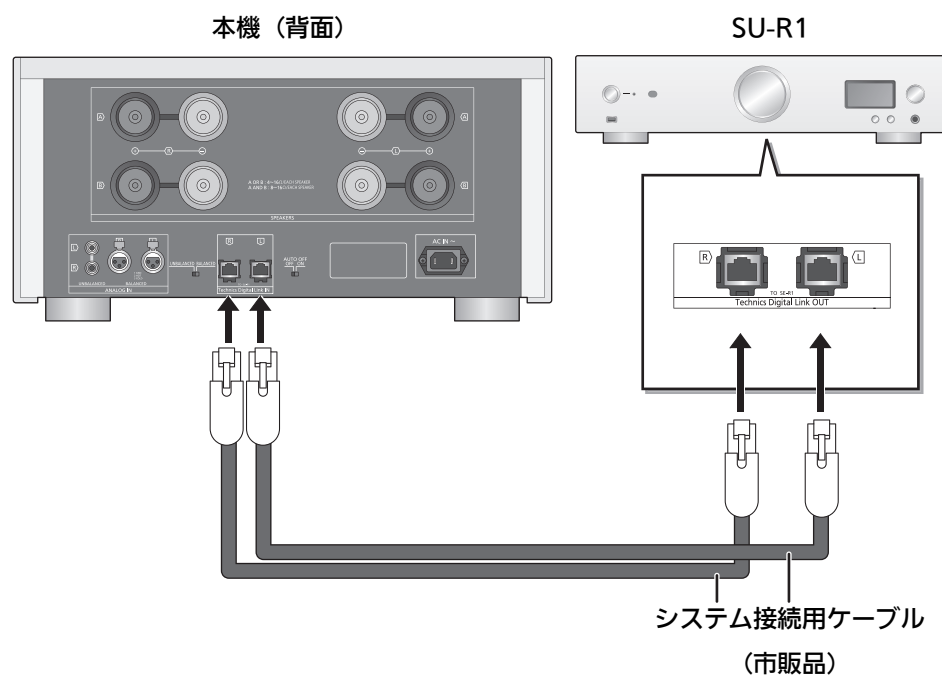
お知らせ

スピーカーに添付の取扱説明書をご覧ください。

準備する (続き)

SU-R1 とシステム接続する

- 本機にデジタル音声信号を入力し、音楽を再生することができます。
- 本機と SU-R1 を自動的に連動させて、SU-R1 のリモコンで簡単に操作することができます。(⇒ 18)
SU-R1 の詳しい操作方法は、SU-R1 の取扱説明書をご覧ください。



- システム接続時は、入力切換つまみを [DIGITAL] に設定してください。(⇒ 18)
- システム接続用ケーブルは、カテゴリ 7 LAN ケーブル STP ストレート結線（シールドタイプ）をお使いください。
3 m 以下のケーブルのご使用をお勧めします。

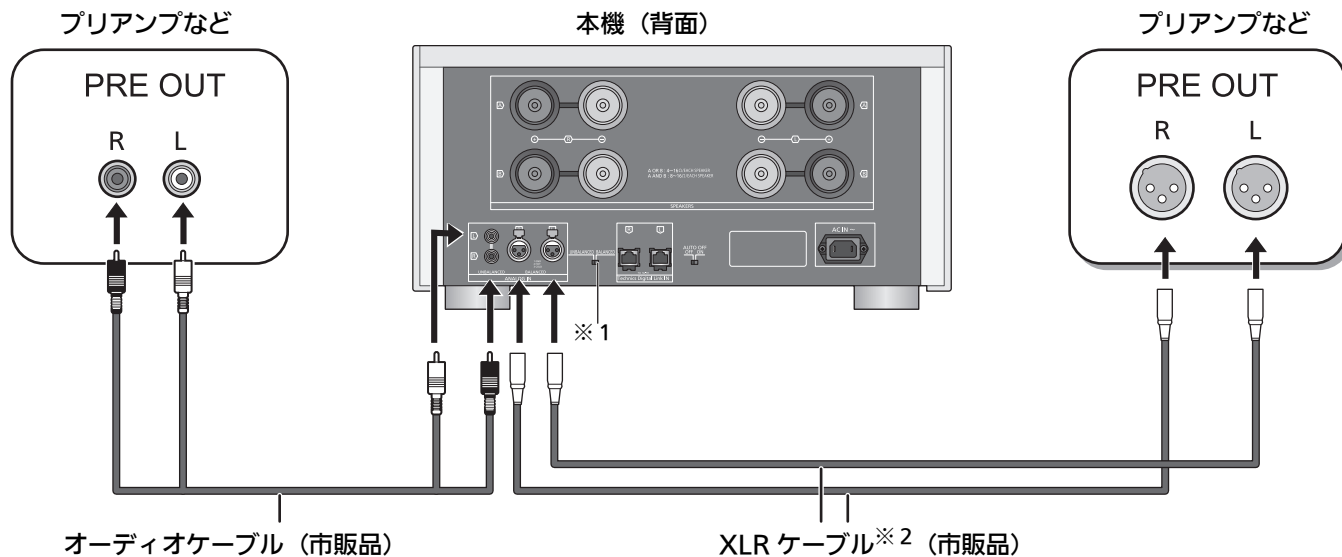
お願い

SU-R1 とは上記以外の方法では接続しないでください。

アナログ音声出力機器と接続する

本機にアナログ音声信号を入力し、音楽を再生することができます。

例：



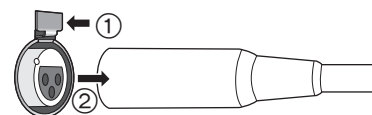
※1 [UNBALANCED] と [BALANCED] を切り換えます。再生したい機器側に切り換えてください。

※2 3 m 以下のケーブルのご使用をお勧めします。

- アナログ音声出力機器との接続時は、入力切替つまみを [ANALOG] に設定してください。(⇒ 18)

■ XLR ケーブルを取り外すには

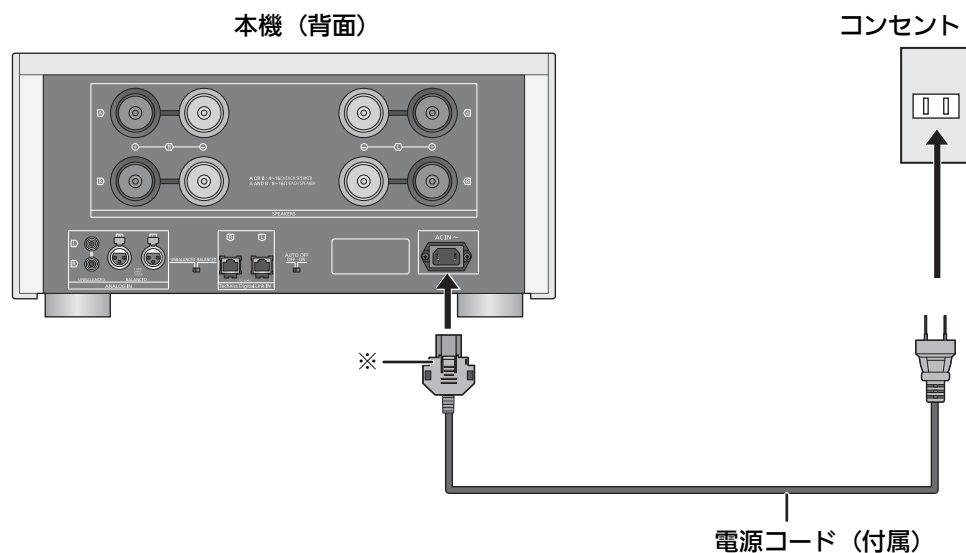
端子上部の [PUSH] を押したまま、ケーブルを抜いてください。



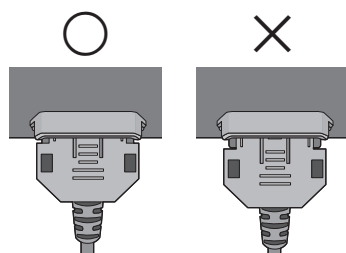
準備する (続き)

電源コードを接続する

すべての接続が終わった後、接続してください。

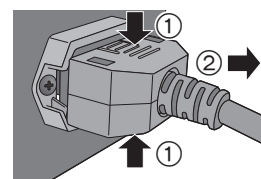


※ 確実に差し込んでください。



■ 本機から電源コードを取り外すには

コネクタの上下を押さえたまま、コードを抜いてください。



お願い

電源プラグがすぐに抜ける位置にあるコンセントをお使いください。

お知らせ

本体の電源「切」状態でも、電源は完全には切れません。長期間使用しないときは、節電のため電源コードをコンセントから抜いておくことをお勧めします。本体の電源「切」状態でも、電力を消費しています。(電源「切」時の消費電力 ⇄ 20)

スピーカー接続時のアンプの出力特性を測定し、出力を補正する

最適な音声出力を得るためにアンプの出力特性測定や出力補正を行うことができます。

- 接続しているスピーカーの設定にスピーカー切換つまみを合わせてください。(⇒ 18)

測定中のテスト音について

測定精度確保のために比較的大きなテスト音がスピーカーから間欠的に出力されます。(約 4 分)
測定中の音量は変えることができません。

1 電源ボタンを押す

電源インジケータが青色に点灯します。

2 本体の [LAPC] インジケータが点滅するまで [LAPC] を長押しする

アンプの出力特性の測定が始まります。左右のスピーカーからテスト音出力されることを確認してください。

- 測定中に [LAPC] を押す、スピーカー切換つまみを回すなどの操作をすると測定を中止し、本体の [LAPC] インジケータが消灯します。

測定が終了すると自動的にアンプの出力補正が「入」に切り替わります。本体の [LAPC] インジケータが点灯します。

■ 出力補正機能を入 / 切するには

[LAPC] を押してください。押すたびに切り替わります。

[LAPC] インジケータが点灯	出力補正機能「入」
[LAPC] インジケータが消灯	出力補正機能「切」

お知らせ

- SU-R1 とシステム接続している状態の場合、SU-R1 のリモコンを使ってこの操作を行うことができます。
- 出力補正の設定はスピーカーへの出力方法 (A/B/A+B) に対して個別に設定されます。
- 接続するスピーカーの種類によっては、出力補正機能の効果が少ない場合があります。
- 出力補正の設定は測定をやり直すまで維持されます。スピーカーを交換した場合は、出力測定をやり直してください。

操作する

1 電源ボタンを押す

電源インジケータが青色に点灯します。

2 入力切換つまみを回す

再生する機器とゲインを選びます。

ANALOG(dB) (-30/-20/-10/0)	接続機器の仕様に合わせて適当な設定をお選びください。 (⇒ 下記)
DIGITAL	システム接続時にお選びください。

3 スピーカー切換つまみを回す

スピーカーへの出力方法を選びます。

OFF	出力しません。
A	A 端子に接続したスピーカーから出力します。
B	B 端子に接続したスピーカーから出力します。
A+B	A 端子と B 端子に接続したスピーカーから出力します。

4 再生する機器を操作する

アナログ入力時の入力切換つまみの設定について

- 通常は [0] に設定してください。
- 小さい音量で再生する場合は、入力切換つまみを [ANALOG(dB)] の [-30]/[-20]/[-10] のいずれかに設定し、本機のゲインを下げることで、本機内でのアナログ / デジタル変換に伴う誤差を抑えることができます。

システム接続機能を使う

本機と SU-R1 を自動的に連動させて、SU-R1 のリモコンで簡単に操作することができます。

準備する

- ① システム接続用ケーブルを使って本機と SU-R1 を接続する (⇒ 14)
- ② 本機の入力切換つまみを [DIGITAL] に設定する (⇒ 左記)
- ③ 本機と SU-R1 の電源を「入」にする
- ④ SU-R1 の「Digital Link」が「Off」に設定されている場合は、「On」に切り替える

■ 本機および SU-R1 の状態を連動して切り替える

- 本機および SU-R1 がスタンバイ状態のときに SU-R1 のリモコンの [⏻] を SU-R1 に向けて押すと、本機および SU-R1 の電源は自動的に「入」になります。
- 本機および SU-R1 が電源「入」の状態のときに SU-R1 のリモコンの [⏻] を SU-R1 に向けて押すと、本機および SU-R1 の電源は自動的にスタンバイ状態になります。

■ スピーカー接続時のアンプの出力特性を測定し、出力を補正する

SU-R1 のリモコンを使って操作することができます。
(⇒ 17)

お知らせ

SU-R1 の詳しい操作方法は、SU-R1 の取扱説明書をご覧ください。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには

本機の動作がおかしいと思われる場合、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

- ① 電源を切る
- ② [DIMMER] を押しながら電源ボタンを押す
- ③ [DIMMER] を約 10 秒間押したままにする
電源 / LAPC インジケーターが 2 回点滅します。

本機が熱くなる

- 大きな音量で再生すると本機の温度が上昇しますが、異常ではありません。

再生中に「ブーン」という音がする

- 接続ケーブルの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。
- 電源プラグを逆に差し換えてみてください。
- テレビの近くなど磁気の強い場所では、音声の品質が影響を受ける場合があります。本機をそのような場所から離してみてください。
- 通話中の携帯電話など、強度の高い電波を発する機器が近くにある場合、ノイズを出力する場合があります。

音声が正常に出力されない

- 接続方法は正しいですか。
- スピーカーが正しく接続されているか確認してください。接続確認後、アンプの出力特性を測定してください。（⇒ 17）
- 入力ソースが正しく選択されているか確認してください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- スピーカー切換つまみを [OFF] 以外に設定してください。（⇒ 18）

PEAK POWER METER が動作しない

- 以下の場合メーターは動作しません。
 - － [DIMMER] を押してメーターのライトが消灯している場合
 - － SU-R1 のリモコンの [MUTE] を押して消音している場合（入力切換つまみが [DIGITAL] に設定されている場合のみ）
 - － スピーカー切換つまみが [OFF] に設定されている場合

システム接続機能が働かない

- 本機と SU-R1 の LR 端子を合わせて接続してください。

電源が突然切れる

- オートオフ機能が働いていませんか。（⇒ 11）
- SU-R1 とシステム接続している場合、連動して電源が切れることがあります。（⇒ 14、18）
- 本機には温度上昇による損傷を防ぐための保護回路が備わっています。長時間大きな音量で本機を使用すると、自動的に電源が切れる場合があります。温度が下がってから再度電源を「入」にしてください。（温度が下がるまで約 3 分かかります）

仕様

■ アンプ部

定格出力		150 W + 150 W (1 kHz、T.H.D. 0.5 %、8 Ω、20 kHz LPF、JEITA) 300 W + 300 W (1 kHz、T.H.D. 0.5 %、4 Ω、20 kHz LPF、JEITA)
周波数特性		1 Hz-90 kHz (-3 dB、8 Ω)
総合ひずみ率		0.05 % (1 kHz、75 W、8 Ω、20 kHz LPF、JEITA)
入力感度 / 入力インピーダンス	アンバランス	1.2 Vrms / 47 kΩ (ANALOG 0 dB)
	バランス	1.2 Vrms / 47 kΩ (ANALOG 0 dB)
ゲイン		29 dB (ANALOG 0 dB)
負荷インピーダンス	A/B/バイワイヤリング	4 Ω-16 Ω
	A+B	8 Ω-16 Ω

■ 端子部

アナログ入力	アンバランス	ピンジャック
	バランス	3 ピン XLR
デジタル入力		Technics Digital Link

■ 総合

電源		AC 100 V、50/60 Hz
消費電力		240 W
	スタンバイ状態	約 0.7 W
	電源「切」状態	約 0.3 W
寸法 (幅×高さ×奥行)		480 × 241 × 567 mm
質量		約 54 kg
許容動作温度		0 °C ~ 40 °C
許容相対湿度		35 % ~ 80 % RH (結露なきこと)

注：この仕様は、性能向上のために変更することがあります。

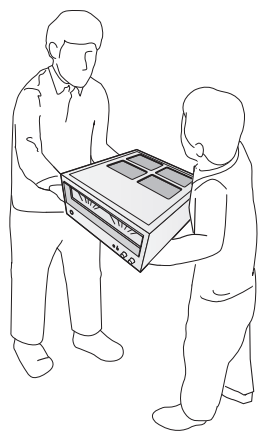
「JIS C 61000-3-2 適合品」

：JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当りの入力電流が 20 A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

使用上のお願い

設置について

- 熱源となるものの上に設置しないでください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- ものを上に載せないでください。
- 本棚の中など狭い空間に設置しないでください。
- 本機を持ち運ぶときは、2 人以上で行ってください。



- 本機内部の放熱をよくするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。
- 丈夫で水平な場所に設置してください。
- 設置場所が本機の重量に十分耐えられることをご確認ください。(本機の質量 ⇨ 20)
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。

電圧について

- ご使用中はスピーカー出力端子に手などを触れないでください。使用条件によって高い電圧がかかることがあります。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - － 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
 - － 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - － 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、電源を切ったまま放置してください。

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。



製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() —
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな？」(⇒ 19) でご確認のあと、直らないときは、電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ステレオパワーアンプ
品番	SE-R1
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このステレオパワーアンプの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- 使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト http://www.panasonic.com/jp/support/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時 電話 フリーダイヤル  0120-878-365 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130 井」を押してください。 (番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。) ■ 上記番号がご利用 いただけない場合 06-6907-1187 ■ FAX 0120-878-236 Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays) ※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
--

- 修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト http://club.panasonic.jp/repair/ インターネットでの依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口 電話 フリーダイヤル  0120-878-554 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 ・上記電話番号がご利用いただけない場合は、 各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検		長年ご使用のステレオパワーアンプの点検を！	
	こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なおいや音がする ・音が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体に変形や破損した部分がある ・その他の異常や故障がある	ご使用 中止
			故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス (続き)

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
首都圏地区	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
中部地区	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市長久保区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鷺4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
近畿地区	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
四国地区	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。 <http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html> 1114

最高水準の感動を、 世界へお届けできる時がきました。

Technics は、音と人との関係を大切に思い、音楽を愛するすべての人に音楽の感動を提供し続け、世界中の音楽文化の発展に貢献したいと考えています。これが私たちの掲げたフィロソフィーです。

音をめぐる数々の出会いと経験が凝縮された今ここに、Technics の理想をめざす、という確信が生まれました。

すべてにおいて最高クラスの品格と完成度をめざし、世界中の人々から、憧れを抱いていただける、幸せを感じていただけるブランドでありたいと願っています。

ディレクター
小川理子

パナソニック株式会社

ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© Panasonic Corporation 2014

SQT0460-2
F1214SB2045

